

平成29年2月7日

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (コード番号: 8732 東証第一部)
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦
 (TEL. 03-4540-3804)

平成29年1月次 月次概況（速報）のお知らせ

平成29年1月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	平成 28 年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益 (単位:百万円)	572	559	529	473	468	738	551	401	525	362	562	563
外国為替取引高 (単位:百万通貨単位)	92,445	96,278	70,156	74,405	68,455	91,113	88,556	61,925	69,423	55,772	96,989	76,584
顧客口座数 (単位:口座)	272,521	274,164	275,538	276,891	278,360	280,816	282,791	284,866	286,494	287,842	289,389	290,820
外国為替取引預り証拠金 (単位:百万円)	60,316	60,224	59,769	59,413	59,478	57,133	57,278	58,715	58,608	59,136	60,882	61,201
一般顧客	49,244	47,950	48,396	48,825	49,273	48,465	48,378	49,173	49,046	48,987	49,458	49,201
金融法人 (B to B)	11,072	12,274	11,373	10,588	10,205	8,668	8,900	9,541	9,562	10,148	11,423	12,000

年 月	平成 29 年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益 (単位:百万円)	458											
外国為替取引高 (単位:百万通貨単位)	95,875											
顧客口座数 (単位:口座)	292,553											
外国為替取引預り証拠金 (単位:百万円)	60,221											
一般顧客	49,392											
金融法人 (B to B)	10,828											

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っておりません。
2. 顧客口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 平成20年5月より代用有価証券の取扱いサービスを開始し、外国為替証拠金取引に使用できる代用有価証券の預り残高が発生しておりますが、現時点では外国為替取引預り証拠金の残高と比べ重要性が小さいため記載を省略しております。
4. 平成23年8月より差金決済取引 (CFD) の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高 (原取引単位を米ドルに換算) 及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。

< 1月次の概況 >

1月の外国為替市場は、米ドル／円については、1ドル=117円台前半で取引が始まり、3日に発表された米国経済指標が良好な結果となったことから一時118円台半ばをつけました。その後、これまでの急ピッチなドル高円安の反動から115円台前半まで大きく値を下げましたが、6日の米国雇用統計の結果が米国経済の堅調さを示すと117円台前半まで値を戻しました。しかし、ドル買ポジション調整の圧力は大きく、11日に行われたトランプ次期大統領の記者会見を受けて米国経済・財政政策に対する不透明感が高まると再びドル売りが進み、17日には112円台前半をつけました。その後は、トランプ新政権の経済・財政政策への思惑や英国の強硬なEU離脱（ハードブレグジット）に対する懸念等を巡り方向感に乏しい相場状況の中、112円台前半から115円台半ばにかけてのレンジでの推移となり、112円台後半で月末を迎えました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨については、前月の水準は上回ったものの値動きの小さい相場推移となり、米ドル／円を含めての全体としての変動率は、米ドル／円の高い変動率に押し上げられる形で前月を上回る結果となりました。

このような状況の中、外国為替取引高は、米ドル／円が大きく増加した結果、前月比25%増加の958億通貨単位となりました。一方、営業収益は、米ドル／円の取引高増加の一方、米ドル／円以外の通貨ペアの取引高が減少したことから相対的に収益性の低い米ドル／円の割合が8割を超えるなど、全体としての収益性が低下したこと等から前月比18%減少の458百万円となりました。また、顧客基盤については、顧客口座数は前月比1,733口座増加の292,553口座と堅調な増加ペースを維持した一方、外国為替取引預り証拠金は、B to B取引先である金融法人からの預り証拠金が大きく減少したことから、前月比980百万円減少の60,221百万円となりました。なお、当月次より、外国為替取引預り証拠金の内訳を、一般顧客からのものとB to B取引先である金融法人からのものに区分して記載しております。

以 上